

刊夕日五廿月一十



定価 一部金五銭 一ヶ月金五拾銭 郵費別
 廣告料 五拾一 一 一行金五拾銭
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常警毎日新聞社
 印刷所 常警毎日新聞印刷株式会社

眼の衛生

眼科醫 吉田久雄

トラホームに罹つてゐるのに気がつかないでゐる事が往々にあります。親が見て目付がどうもおかしいと思つたなら、直ちに専門醫に診て頂く事です。

トラホームは實に厄介な病氣で、目がたつにつれて段々癒り難くなるものです。から其の点特に心に歩めて頂たいと思ひます。

又、結膜炎は軽いものならば家庭で硼酸水で眼を洗ひ、賣藥の目薬をさして置けば治りますが、ひどいものは醫者の手につけなければ駄目です。

すべてかうした眼病にかつた子供には、眼の過勞をさせざるのは勿論で映書見物などは大禁物、夜は出来るだけ早く寝させなければなりません。

燈下親しむ秋の勉強シーンに、机に向ふのは誠にいいものですが、近視眼になるやうな無理をしてはなりません。最近の統計では大正二年から昭和七年ま

で廿年間の増加率
 中学生百人中二〇人實數
 十二萬人 女學生同二十
 四人實數十二萬四千人
 小學生男女合計百六萬七
 千人
 が近眼です。

豫防方法は絶対的なものはありませんが、

少くとも眼と本の距離は三〇センチ位は雄す事。光線不足の所で讀書しない事。姿勢を正しくすること。時々眼を休めて、遠くの方を見る事。

- 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【朝】紅茶 カステラ クリ
 ーム チョコレート
 果實
 【晝】ちらし壽し 酢取生妻
 【晚】うすくずひき 大根
 人參 里芋 フライ
 かき レモン

睡眠はよくとる事が必要で

なほ、電熱の明るさは四疊半……三〇ワット
 六疊……四〇ワット
 位が適當です、三〇ワットの電燈は一米、四〇ワットの電燈は一米、五米位机から離すこと、光りは自分の頭

上からとるのが最も理想的で、あまり一方光線の背の低いスタンド等は感心しません。



山に語る

入江 好己

丘に立ち油滴るやうな山を見る
 山を眺めるのはたのしい
 どころか呼びかけてゐる思ひがする

嶺のむこうに又頂上が見え
 いくつにも重なりどこまでも連なる
 あの山のどこかに神祕が住み
 底深い思想がかくされてゐる
 それか私どもに呼びかけ私どもをひきよせるのであろう
 油したたるやうな山にむかひ
 涙うるませて何かを山に語りたいたのである

看護婦急派
 求めに應じます

平町南町
 看護婦會
 電話三〇七

千ヤナギ
 いか切込
 賣り始めました
 鯉節 鯉鹽辛

平土橋
 丸仙鮮魚店
 電六六二番

食事 兼ねた
 酒場
 の冬
 サロン
 暖房設備が出来ました

御家庭の延長として
 是非御利用下さいませ

- 温かい ミルク(牛乳) 十銭
- 御飯物 リプトン紅茶 十銭
- お菓子 十五銭

平・田町 電三五二 男給の店 イハキサロン

石炭一〇〇パーセント
 サイヴキス

時節柄
 ダンゼン
 値下げ!

品質が優良
 目方が正確
 此の点は當店を絶対に御信用願ひます
 ◎市内は一俵より配達致します

電話三七番
 阿部石炭商店

毎度格別なる御景負に有難く御禮申上げます
 弊店獨得の季節御料理と致しまして此度は純江ノ島料理を始めました。何卒御尊來御試食を賜り度く伏して御待ち申上げます

- ◎江ノ島料理
- 松印 珍味江ノ島鍋共五品 御一人前 金壹圓五拾銭
- 竹印 珍味江ノ島鍋共五品 御一人前 金壹圓貳拾銭
- 梅印 珍味江ノ島鍋共五品 御一人前 金壹圓
- 毎日献立差替へ調理致します
- 豫て御好評のヒナ鳥
- ◎水 たき
- ◎鯛 茶

御婚禮、忘年会、新年會は
 特に御相談に應じます
 割烹 住吉屋本店
 電話一五九番

外科 X光線科
 性病科
 外科科
 入院 隨院 意

平町 田町
 安齊外科醫院
 電話四七五番

月曜是非

平商校舎の改造

市制建設の途上に在る平町の面よごしの施設として第一に指を折られて居るのは商業學校の校舎である。

春風秋雨幾十年、餘命幾干もなき外觀の老衰さ、夥だしい雨洩りに描く天井板の萬國地圖、一人の歩みにも屋鳴り震動する樓上講堂の危険地帯、窓硝子は破れて朔風逆巻く風洞となつて居る。是れをあら家と云はずして何ぞ、今迄に何等事たしに済んだのが寧ろ不思議と云ふべきである。

町の財政と照し合せて考へる時、思ひながらにして此の危険を忍ばねばならぬのも己むを得なかつたかも知れぬが、平明ばかりでなく全國の都鄙を通じて財政難を唱へ自治体は蓋し尠い、されど、平商校舎の如き、頽廢した建造物に依つて教育を施しつゝある都市も全國稀れであらう、此の腐朽し切つた校舎は、既に無い袖振れぬで傍觀を許せぬ状態に置かれてある、例へ一時的な保強工事を施すと雖も、夫れは單なる膏藥張りに過ぎず、到底安心を許されぬのみか、却つて年々の修繕費は町の豫算をむしばんで、泥沼に足を踏み込むも同様、あがきのとれぬ結果を招來するであらう。

て居るよりは、郷土に立脚した理想的な實業教育を授け得る機關として、この學校の一つ位へ、自力で經營の出來ぬ様な事では、何んの顔せあつて、市制の實現を説くと云ひたくなる。

梅津第二師團長

雨中の教練視察

聯隊長を

濱通り營中、相中教練視察の梅津第二師團長は司令部附添田中佐以下幕僚を従ひ昨廿四日午後三時三十分平驛着官民多數の出迎をうけ直ちに自動車で小名濱港を視察の上同夜平町住吉屋本店一泊、今廿五日早朝より營中校庭で查閱執行官佐伯廿九聯隊長並に大井川中佐指揮の

各個教練 手旗 通信傳令勤務 幕舎構築 各個教練教育法 小隊密 集教練指揮法 分列式

を查閱小憩後降りしきる雨の中を久保町地内好問街道をはさんで展開の同校五年生の小隊戰術教練及び同指揮法、陣中勤務通信狀況を查閱、更に午前十一時十分より軍事講話を試み校内視察後午後一時五十八分列車で歸仙した

内容外觀と相俟つて教育の完璧を期す事が「町立」の面目を保持する所以である。夫れでこそ、眞の教育機關として、安心して父兄はその子弟を託し得るであらう。

吾人は、今回母校を懐ふ念慮篤くして賑起した南友會の陳情に、共鳴し町當局並びに町議諸君の一考を煩したい。

体操視察

冬期の指導

縣體育協會の體操視察研究會は來月九日午前九時から平第三小學校、十日は小名濱校に開かれ千田體育主事臨席郡内各小學校體操科教員の冬期に於ける體操教授を視察指導すると

海軍試験日割

昭和十一年度横須賀鎮守府海軍志願兵徵募検査本郡内關係は明春二月廿九日、三月一日、二日の三日間平第三小學校で施行することに決定この程發表された

入山の打撃を完封

平鐵道に凱歌揚る

昨日の磐陽野球決勝戦

既報磐陽野球リーグ戦は昨廿四日午前九時から湯本町營球場に入山對磐陽の準決勝戦に始まり入山猛打を發揮し十八對六の大勝午後一時二十分より平鐵道對の決勝戦に移つたが平鐵道佐藤投手の鐵腕に入山は打撃を完封された上、平鐵道の打撃は入山の上面、朝妻兩投手を打ち倒し長打連打してインサイドゲームとなり十八對

Score table for the baseball game between Yamashiro and Heiwa. Yamashiro: 0, 0, 0, 1, 1, 0, 0, 0, 0, 2. Heiwa: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9. Total runs: 10A.

城山優勝

軟式野球大會 マルトモ運動具店主催第五

回軟式野球大會は廿三日午前八時から平商、平第一兩球場で舉行されたが戦績左の如く城山俱樂部優勝した

遞 友2-1 平鐵 6 平驛 6 ヤード 準決勝戦 發電所6-3 遞友 城山4A-3 みどり Δ決 勝 城山11-4 發電所

教育功勞の表彰

郡内の五氏が全國校長會で

高等小學校教育五十週年記念全國高等小學校長大會は去る廿四日より東京支神田區一ツ橋帝國教育會館で開催中であるが同大會に於いて教育功勞者として表彰される縣下小學校長廿五氏中郡内では左記五氏が晴れの光榮に浴した

平第一篠山藤 勿來折笠 鬼子太郎 内郷佐藤 永井 小玉善治 湯本鈴 木杏太

健康相談

各所に開設

健康増進週間に際して縣衛生課巡回診療班の臨時健康相談所開設本郡内場所並に日割は左記の如くである

本郡馬に

農林大臣賞

三阪村大字上三阪大谷松氏所有第三秋號同所小平平治氏所有平澤號の挽馬は福島縣產馬蕃產組合聯合會主催役馬共進會で何れも二等賞となり農林大臣賞銀の賞牌並に賞金各四十圓を授與された、尚昨年以前記小平平治氏所有此馬綱草が一等賞に入選本年は規定により同馬の出場を見なかつたものであると

齋藤氏の墓碑 平町杉平出身永年本縣教育界に盡瘁した故齋藤要氏の遺児教育資金並びに墓碑建設資金は募集中の處此程墓碑が完成したので來る廿八日午前十時より長源寺で建碑除幕式を舉行すると

青年學校協議 郡内青年學校長並に主任教練指導員會は昨廿四日午前九時より平第二小學校で開會左記事項を協議した

健康増進 縣主催 週間打合 來る十一月卅日より十二月六日まで一週間縣下一齋に施行される健康増進週間に就き左の平町團體關係者は廿七日午後一時より平署會議室に參集打合せをなすこととなつた

井坂醫院

平町 田町 電話五五九番

赤十字分會 愛婦分會 醫師會 齒科醫師會 藥劑師會 產婆關係者 看護婦會 理髮組合 湯屋組合 食肉組合 牛乳組合 貸座敷組合 その他接客業者

小學校教員

秋季總集會

郡下小學校教員秋季總集會は昨廿四日午前十時より平第一小學校で開會、會長補欠選舉の結果篠山平第一校長に決定、湯本校訓導部正一氏の「小學校に於ける職業指導」と題する研究發表あり正午休憩後講師福島師範教諭小池元吉氏の「大和民族と外來文化」と題する講演があつて午後二時半閉會したが出席者三百五十名あり盛會であつた

正当防衛か?

刺身庖丁で刺され

樫の丸太で毆殺す

賭博打ちの喧嘩

内郷村大字宮字宮澤無職吉川幸太郎(四)は廿三日午後四時半頃訪ねて来た同所無職桑原留次郎(五)と飲酒中留次郎が賭博で吉川に貸した一圓の金を

催促したことから喧嘩になり一時別れて留次郎は歸つたが間もなく自宅から鋭利な刺身庖丁を携帯し來つてまだ飲んで居た吉川の左脇腹を突刺し顛倒させたが氣丈な吉川は庭先にあつた樫の棍棒で留次郎と

渡り合ひ 大立廻りの末留次郎の頭部を一撃したので同人は昏倒、翌日午前八時死亡した、清田検事及び柴田平署司法主任現場に

急行、同夜藤沼醫師が解剖に附した結果 致命傷は 頭部の一撃であること判明、犯人吉川はその場で逮捕されたが正当防衛か否か興味を持つて見られてゐる

加害者、被害者共に表面は鐵クツ拾ひ等をやつて生活を立て、居る様に見せかけて居るが實は賭博の常習者で今回の事件の發端となつた貸借關係も賭博に達した元手であり加害者は最初被害者に刺身庖丁で刺されてゐるのでそれを防衛するためやつたと云ふのである

寒さに奪れた

職場の手配

幸ひ平紹介所に大量の求人申込

平職業紹介所に目下大量の求人申込と云へば觸景氣で俄然秋季に入つて活氣を呈する濱地方の粕屋、所謂イッパ業方面を筆頭に農繁期で手不足の夏井川改修工事場や千葉縣木更津の海軍航空

隊建設工事、平町舗装工事或は昭和八組の男女工募集も軍需景氣に有卦に入つて相當の申込あり同紹介所はこれら職場に對し今後寒さに向ふにつれ職場を奪はれて地方に流れ出す者或はそ

郵便物

區分競技

入賞者氏名

既報平郵便局は昨廿四日午前九時から局員の郵便物區分競技を開き幹部局員が審査の結果入賞者左の如くである

- (府縣別區分) 一等大友義明 二等阿部金七 三等赤塚正男(行政區分) 一等大友義明 二等殿木正男 三等大平尚行(配達區分) 一等小野五郎 二等秋山清太郎 三等高久鐵男(押印取揃) 一等上平局福田清 二等湯本局草野道雄 三等平局圓野實(特種通常差立) 一等小林實 二等渡邊賢治 三等金成貞一(集配道順) 一等片寄茂 二等松崎喜一 三等早坂關男(職員府縣別分) 一等草野國光 二等渡邊傳喜 三等今井常藤

旗行列が延期 本町各小學校の納税思想宣傳旗



明日のラジオ

今夜も明日も雨 や、續く

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 物語「猿丸太夫出世物語」青木精一
- 後六、二五 基礎英語講座 岡倉由三郎
- 後七、二〇 講演「我が國の新興工業」工學博士厚木勝基

行行列は今廿五日雨天の爲明日に延期された

招魂碑偉觀

砲身無償で 拂下げ決定

既報小名濱町立花雄七氏發起の招魂碑建立は去る十八日同町小野平町長が横須賀に出張砲身拂下げ交渉の結果無償拂下を受けることと決定近く請負入札の上愈々總工費三千圓で着工することになつた

検査場祝賀

來月二日舉行

平町八幡小路に新築された自動車検査場落成式は既報の如く役員會打合せ會開催の結果來月二日午前八時より舉行されることになつた

明日の部
前七、〇一 基礎ドイツ講 座 武内大造
前七、三〇 朝の修養「親鸞聖人の生涯」禿氏祐祥
前八、〇〇 幼兒の時間 唱歌 二葉會々員
前八、一〇 家庭講座 「温かい鍋料理」小澤融覺
後八、〇五 新日本音楽 大日本家庭音楽會福岡
後八、二〇 小學生の時間 尋三 唱歌 井美奈子
後八、四〇 小學生の時間 高一 國語「お話エデブ」の古代文化 山本茂

理髮業の

生命線確保

産業理髮部に反對 産業組合理髮部設置案は俄然縣下理髮業者の反對運動を捲き起し平加藤卯之吉四倉榮花梅士、植田相良千之助の三理髮組合支部長も昨廿四日出縣縣下各支部長

脱衣室で次難

野球出場の警中選手

廿三日湯本町に舉行された警陽野球大會に出場した警中選手一行は選手控室の湯本校東教室に脱衣所持品を置いたが同午後四時二十分試合終了後鈴木慶一外六名の現金十四、五圓を窃取されてゐるのを發見平署に廿四日届け出た

天狗連

義太夫競演

東西々々 私共天狗連 此の度び、口上で廿五日の兩日午後五時から聚樂

後六、〇〇 子供の時間 名作物語「黒馬物語」東京放送研究会
後六、二五 青年の時間 「スキ風」ゾンを迎へて 木村原
七、三〇 講演「我國主要産業の情勢」吉野商工次官
後八、〇〇 三題晰理初時 雨カモフラージュ 桂小文治
後八、二五 モダン孝子傳 澤村田之助他
後九、〇五 聲色吹寄せ 吉岡鏡一

小名濱で

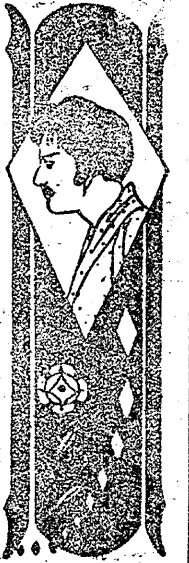
電氣火葬

小名濱町が去る四月以來玉川村大字岡小名地内高臺に總工費八千圓で着工中の町營電氣火葬場はこの程竣功愈々來る廿八日午前九時より落成式を舉行することにまつた、尚同火葬場の釜は低温式で重油を發散させて僅か四五十分で屍體は消滅すると

豊間村長

鈴木氏再選

豊間村長鈴木藤治郎氏は此程任期満了となつたので改選の村會を昨廿四日午前九時から役場内で開いた結果満場一致で鈴木氏前村長が再選された



明治太平記

(上段及上段)

(作) 寺島在史
(監) 寺島在史

第二百八十三回

蒸汽車 (八)

ふたゝび大志賀は起ち上つてよろ／＼足を踏み出した。た。

「ぢや、わしが助太刀屋のそのまた助太刀かい」

「なに、おぬしの手を借りることはいらん。引つ込んでをれ」

「で、これから川崎ですか」

「もちろん」

「そいつアいけません」

「なぜいかなぬ？」

「だつて、ウエルズの奴、どうせ東京まで用があつて往くのだ、大師参りでもありませぬ」

「だから……」

「だから、この次の九時五分の蒸汽車に乗つて品川へ往きますせ、おまへさんが川崎へつくころは、ウエルズ奴、品川驛をのんびり降りてますさ」

「うむ……では、こゝではその九時五分の蒸汽車を待たう」
「どうするんで……？」
「くるまに飛乗るのさ」
「そ、そんなことなでけますかい。飛降りてさへこの

「おとわは、けふ明日知れぬいのちだ。あのをなごの息のあるうちに、ウエルズを討取りたい」

「なるほど……一刻もはやく品川へいつて、ウエルズを待うけたいものだが」
そのとき、このほかないのぞみにこたへるやうに、何處からか遠く車の音が響いてきた。
「おや、蒸汽車が……」
大志賀が振りかくと茂平次は



茂平次は鐵路ばたに突立つたまゝ、腕こまぬいて感へ込んだ。
「徒らな沈黙……」
「どうでもけふはウエルズを討取らねばならぬといはつしやるか」
茂平次は幽かな調子で訊ねた。

「いや、お馬車の音ですぜさうだ、あれを呼びとめて一足さきに品川ステーションへ……」
平次は

でも便乗をたのもう……茂平次はすつかりそれにきめて、街道筋をこちらを指して駈けてくる馬車を待ちうけた。
「品川ステーションまでどうおこちらが早くつくたらう。助太刀屋さん、うまくやつて貰はんならんせ」
茂平次は大志賀を力づけ

「そのよろ／＼腰ではこゝろもとなが……」
「なあに、いざとなればすつくと起ち上るわ」
そのうちに馬車は近づいた。
辨慶編の西洋服を着た駈者は意氣揚々とそり身にかまへてゐる。馬車には客が二人。
「占めた、こちらのふたりは、ましがひなく乗せていつて貰へるぞ」

玉屋洋品店
平町田町通電話五六六番

内科 小兒科 花柳病科
藤沼醫院
平町紺屋町 電話五〇七番

株式 賣買
合資 三共商事
大町 電話三六〇番

市原醫院
平町田町 (電一四番)
内科 小兒科 市原卯太郎
外科 梅毒・淋病 市原三三男
入院隨時

留夜有鑑り存しませ
レストラン 平倉館
電話 624

福島縣平町二丁目
西村屋藥舖
藥劑師 鈴木堅助
電話 三三番
振替 (東京六・二九九 仙臺一・二〇一)

齒科 口腔外科
レントゲン科
平町土橋通り 電話三一一番
院長 東京齒科 原 精一
原齒科醫院